

策定年月	令和7年9月
見直し年月	令和 年 月

麦国産化プラン

産地名：福津市

（作成主体：株式会社 みずほファーム）

1. 麦生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

○ 現状と課題

〈麦〉

- ・令和7年産は「チクゴイズミ」、「ちくしW2号」を作付し、生産量は77,789kgとなっている。
- ・高品質化及び収量の増加を図るため、雑草、排水対策の徹底、タンパク質含有率の向上に取り組んでいる。
- ・耕作面積が増加しているため、スマート農業機械の導入による生産性の向上、効率化、省力化された生産体制の強化に努める必要がある。

○ 課題解決に向けた取組方針

〈麦〉

- ・レーザーレベラーの導入により、圃場内の傾斜の均平化を行い、排水性を改善し、作業の効率化を図る。
- ・直進アシスト付きトラクターの導入により、従業員の技量を問わず播種作業の精度を向上させ、収穫や薬剤散布などの際にムラのない作業を行うことにより、生産の効率化を図る。
- ・作付け圃場は砂壤土が多く肥料が流亡しやすいため、土壌改良資材の投入や適期施肥の励行などによる効率的な施肥をおこなうことで収量の増加を目指す。

※ 麦・大豆生産における課題(湿害対策、適期播種、土づくり、連作障害対策等の必要性等)を具体的に記載すること。

※ 課題解決に向けて取り組む内容及び今後の生産拡大に向けた方針を具体的に記載すること。

2. 産地と実需者との連携方針

〈麦〉

JAむなかたへ全量出荷しており、JA全農ふくれんを通じて実需者へ販売されている。
栽培方法に関しては、JAむなかた麦作部会に加入しており、タンパク質含有率向上、排水、雑草対策等に関して、麦作ごよみ説明会及び定期的な現地検討会が開催されており、栽培暦に基づいた作付を行なっている。

収量が減少した圃場については土壌分析等を実施し、関係機関の助言・指導をもとに土壌改良材を投入している。

品種名	産地取扱量		実需者取扱量		実需者
	令和7年度 (現状)	令和10年度 (目標)	令和7年度 (現状)	令和10年度 (目標)	
チクゴイズミ	9,273kg	16,320kg	9,273kg	16,320kg	非公表
ちくしW2号	68,516kg	117,693kg	68,516kg	117,693kg	

※ 産地と実需者については具体的な名称を記載すること。

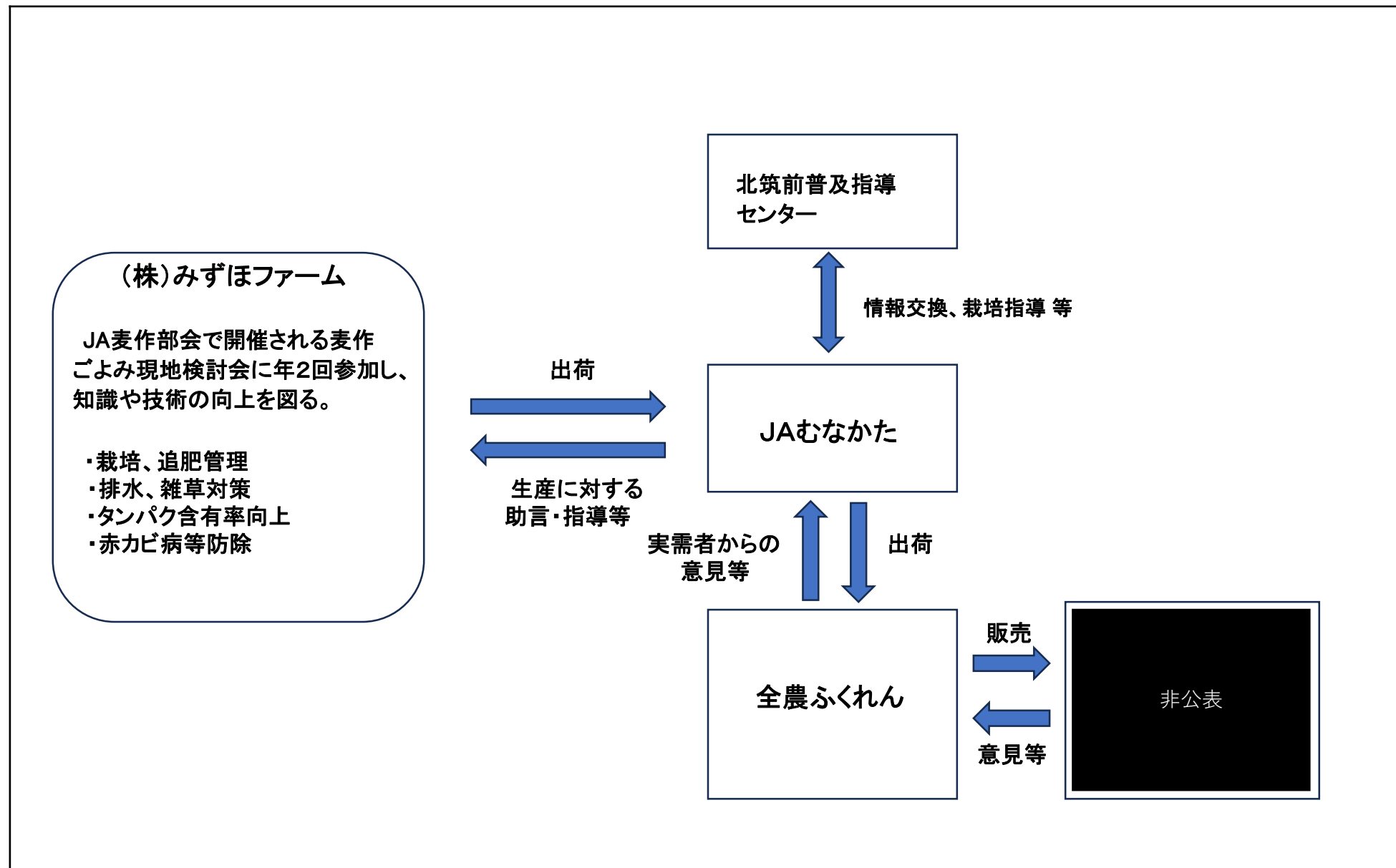
※ 麦の実需者は、麦を原料とした加工品等の製造を業とする者(製粉会社、製パン会社、製麺会社等)とする。

※ 大豆の実需者は、大豆を原料とした加工品等の製造を業とする者、大豆の販売を業とする者及びこれらの者が組織する法人その他の団体とする。

なお、販売を業とする者を実需者とする場合は、その者が販売する先(最終実需者)について、代表的な者の名称を記載すること。

※ 産地と実需者それぞれの国産麦・大豆取扱量の現状とおおむねの目標値を記載すること。

3. 麦の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割



※ 産地と実需者との連携について、図等を用いて明示すること。

※ 取組の中心となる農業者等を必ず位置付けること。